

草津市市制60周年 上水道通水開始50周年を迎えて

草津市長
橋川 渉



本市の上水道は、草津市市制施行10周年目にあたる昭和39年4月に一部給水を開始し、本年おかげさまで50周年を迎えることができました。

昭和41年には、ほぼ市内全域に給水できるようになり、以来、人口の増加や下水道の普及等により、急激に伸び続ける水需要に対して、事業拡張を重ね、安全で安定した水道水の給水に努めてまいりました。今日、安定した水道水の給水が行えるのも、国・県・水道関係者各位の御尽力によるものと、深く感謝申し上げます。

草津市は、昭和40年の国勢調査では8,417世帯、38,328人でしたが、平成22年の国勢調査では57,318世帯（約6.8倍）、130,874人（約3.4倍）となりました。

この50年間は、取水・導水・浄水・送水・配水の各施設の拡張整備に鋭意取り組んでまいりました。その結果、施設能力は創設当時の一日最大給水量8,800立方メートルから59,120立方メートル（約6.7倍）に拡大しております。

今日、本市の水道事業は大きな転換期に直面しています。通水50周年を迎え、整備を進めてきた管路は、老朽化により大量更新の時期を迎えています。一方、水需要は節水意識の高まりや節水型機器の普及等により減少傾向にあり、さらに、全国的な人口減少が近い将来本市にも及ぶことが予想されます。また、東日本大震災などを教訓とし、耐震性の向上に努めるとともに、非常時に備えた危機管理対策が求められています。

安全でおいしい水をつくり届け、快適な市民生活を支えるという水道の使命を果たし、今日の水道の恩恵を次世代に継承、発展させていくため、本市水道ビジョンの「びわ湖の恵みをとどけ 未来へつなぐ 草津宿の水」を将来像とし、今後も、諸課題の解決に努めてまいります。

この通水50周年を機に、市民の皆様により一層満足していただける給水サービスに努めてまいりますので、今後とも御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年12月